

東京日々新聞

九百六十七号



一蕙齋
方幾

巡査の聲と云ふは走り来て恥所へ引き行つ
る賊の扱と云ふ者もて今一人の如き
勢ひに恐るるがうせよと云ふん

芝西應
寺町末
屋仙藏
又強盜
二人所持
の金銭差出す
と云ひける仙藏
の大恐怖也
多々妻
らと云ふ

彼の賊と見よ
思ひの外の小男の如く怒ら
軽侮有り合せたる米俵を取て投げ付く左の
腕に班と云ふものを屈せりやらを以て夫仙藏の妻と討せよと
賊の組付夫婦と云ふ組伏せ誰か
来てと云と呼び立てるぞ

人形
具足屋
渡辺彫深

東京日々新聞 967号 文庫10-8059-57

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9

